

活ママの 教えてくださる？

—算数編—



視覚情報化して考える

活ママ「先生、うちの子（二年生）が、教室のお兄ちゃん（四年生）に『答えを書いたらダメだよ』と言われてたらしいのですが？」

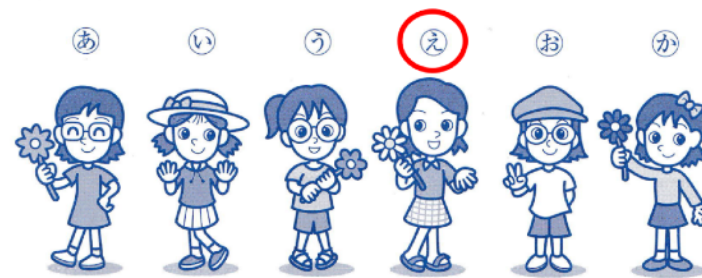
塾長「そうでしたか。答えを書いたらダメでは、びつくりしましたね。でも、お兄ちゃんの言う通りなんです。彼は活塾のお作法に忠実なんです。」

具体的な問題で説明しますね。

これは、数的推理の問題と言って、小学校の教科書ではほとんど取り扱われませんが、思考力検定や公務員試験では定番の問題です。」

問題「下の6人の中にゆみさんがいます。次の4つのヒントを読んでゆみさんを、あくおの中から選びなさい①ゆみさんはぼうしをかぶっていません②ゆみさんはあやさんのとなりにいます③あやさんは、めがねをかけています

④あやさんは花をもっています」
塾長「初めての子どもは、まっすぐ答えに向かいます。頭の中で考えて、答えの「え」をひねり出します。」



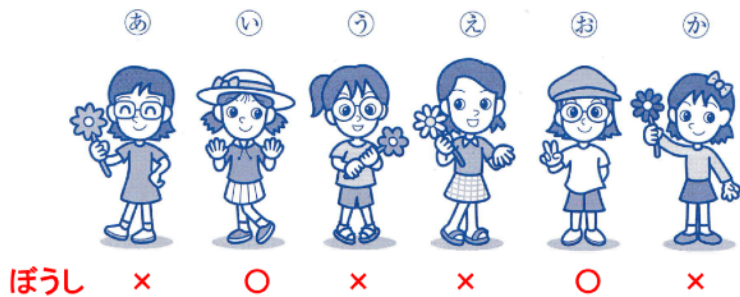
ですが、活塾の子どもは、まっすぐ答えに向つてはいけません。ぼうしに向わないといけません。つまり、まっすぐ初めに問題を解く準備をしなければならぬのです。

わかること全てを書き込みます。まずはじめにぼうし、つぎにめがね、と、わかる情報を全て書き込んで視覚情報化し、それを思考対象にします。

だったら、答えを書いたらダメではなく、答えを書くだけではダメと言わないと...と思いがちですが、書くだけでは、と言うと、答えを求めたあとに、その説明の図を考えてしまいま

す。だから、彼の言う、答えを書いたらダメが、活塾のお作法なのです」
活ママ「はい、なんとなくわかりました。ちかみちよりもまわりみちということも。そして、そのお兄ちゃんが全力疾走でまわりみちを走っていること

も」
塾長「お母さん、全てお見通しじゃないですか」



活ママの 教えてください？

—算数編—



視覚情報化して考える

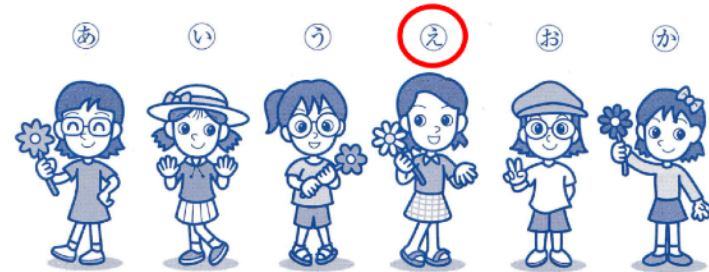
活ママ「先生、うちの子（二年生）が、教室のお兄ちゃん（四年生）に『答えを書いたらダメだよ』と言われてたらしいのですが？」

塾長「そうでしたか。答えを書いたらダメでは、びつくりしましたね。でも、お兄ちゃんの言う通りなんです。彼は活塾のお作法に忠実なんです。具体的な問題で説明しますね。」

これは、数的推理の問題と言って、小学校の教科書ではほとんど取り扱われませんが、思考力検定や公務員試験では定番の問題です。」

問題「下の6人の中にゆみさんがいます。次の4つのヒントを読んでゆみさんを、あくおの中から選びなさい①ゆみさんはぼうしをかぶっていません②ゆみさんはあやさんのとなりにいます③あやさんは、めがねをかけています」

④あやさんは花をもっています」
塾長「初めての子どもは、まっすぐ答えに向かいます。頭の中で考えて、答えの「え」をひねり出します。」

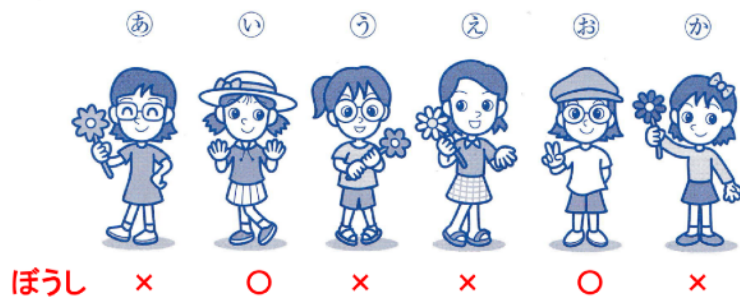


ですが、活塾の子どもは、まっすぐ答えに向ってはいけません。ぼうしに向わないといけないのです。つまり、まっすぐに問題を解く準備をしなければならぬのです。

わかること全てを書き込みます。まずはじめにぼうし、つぎにめがね、と、わかる情報を全て書き込んで視覚情報化し、それを思考対象にします。

だったら、答えを書いたらダメではなく、答えを書くだけではダメと言わないと…と思いがちですが、書くだけでは、と言うと、答えを求めたあとに、その説明の図を考えてしまいませう。だから、彼の言う、答えを書いたらダメが、活塾のお作法なのです」

活ママ「はい、なんとなくわかりました。ちかみちよりもまわりみちということも。そして、そのお兄ちゃんが全力疾走でまわりみちを走っていること



も」
塾長「お母さん、全てお見通しじゃないですか」